

夕焼け姫のブランド化に向けた支援を拡大します



令和6年(2024年)2月22日
東海市記者会見資料
農務課

本市では愛知県のかんきつの新品種「夕焼け姫」の産地化・ブランド化に向けた、意欲のある生産者の取組みを令和元年度(2019年度)から支援しています。付加価値の高い農産物の生産を通じた農業経営の安定を図るため、夕焼け姫の普及に向けた苗木導入への補助に加え、栽培に必要な土壌被覆資材(マルチング)の購入に対して支援を拡大します。

【事業内容】

- 夕焼け姫苗木購入費への補助(継続)
 - ・ 苗単価 1,200円/本
 - ・ 補助率 1/2以内
- 土壌被覆資材(マルチング)購入費への補助(新規)
 - ・ 単価 55,907円/本(3m×100m)
 - ・ 補助率 1/2以内



【参考】

- 土壌被覆資材(マルチング)について
愛知県の開発した新品種「夕焼け姫」の品種特性を生かすために必須とする資材で、土壌を全面被覆し、水分を過度に与えないよう抑制するための防水シート。被覆後、3年程度使用できるもの。

【予算措置】

<歳出>

かんきつ(夕焼け姫)ブランド化推進補助事業	710千円
-----------------------	-------

問合せ 担当：環境経済部農務課 担当 角田(かくた) 052-601-2211, 0562-33-1111 (内線523)

新品種なすの導入を支援します



令和6年(2024年)2月22日
東海市記者会見資料
農務課

愛知県農業総合試験場において、通常の露地栽培より育成・出荷を早める促成ナスの新品種「試行17-22」が開発され、東海茄子研究会が試験栽培を実施しています。

新品種は、トゲなし性で1株当たりの収量が多く、ハチによる受粉や着果促進剤の処理をしなくても果実が肥大するなど、栽培管理がしやすく収益性が高い特徴を持っています。

産地化・ブランド化に向けた付加価値の高い農産物の生産を通じた農業経営の安定を図る意欲ある生産者を支援するため、新品種なすの苗購入費に補助します。

【事業内容】

- 新品種「試行17-22」の苗購入費への補助
 - ・ 苗単価 240円/本
 - ・ 補助率 1/6以内

【参考】

- 新品種「試行17-22」について

愛知県農業総合試験場が開発した新品種で、令和5年(2023年)から種苗の販売を開始したもので、東海茄子研究会のみが栽培している。

果皮がやわらかく、焼いても煮ても、漬物にも適しており、本市の特産品となり得るもの。



【予算措置】

<歳出>

なす優良種苗購入費補助事業 800千円

問合せ 担当：環境経済部農務課 担当 角田(かくた) 052-601-2211, 0562-33-1111 (内線523)